

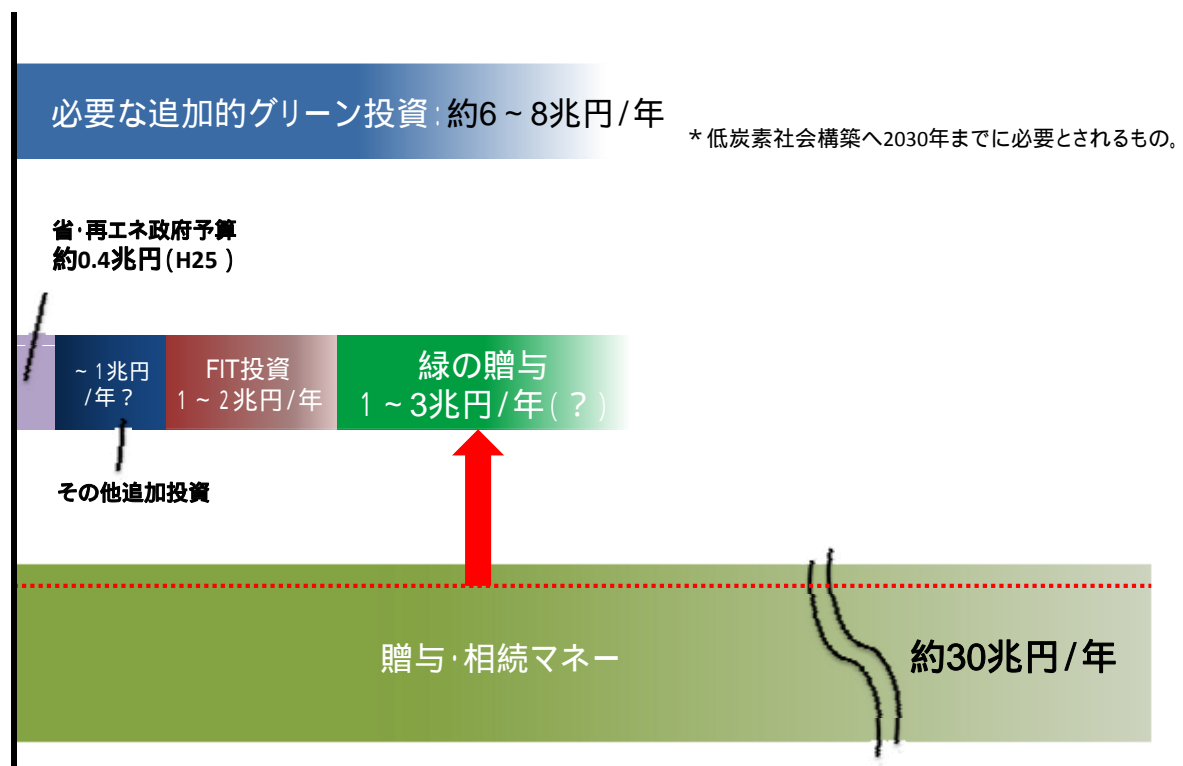


ISAP2013 パラレルセッション

## 緑の贈与 ～ その仕組みと役割 ～

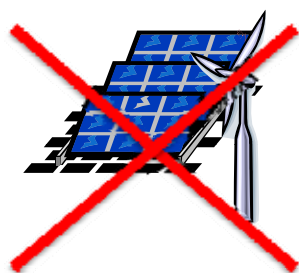
2013年7月24日 植田和弘(京都大学)  
ueta@econ.kyoto-u.ac.jp

### 求められるグリーン投資



環境省、経産省、IGES、民間調査機関による推計より作成。数字は大まかなイメージであることに注意。

## 個人の再エネ投資を阻害するもの



元を取るのに15年？  
それじゃあねえ……



初期投資が150万円？  
うちの家計じゃ無理だわ……

3

## 緑の贈与とは

資産継承の際に、「再生可能エネルギー」を贈ること。  
必要な施策は、贈与税優遇とコンセプトのPR



「私達の資産、何で遣そうか？」  
「現金？ 株？」

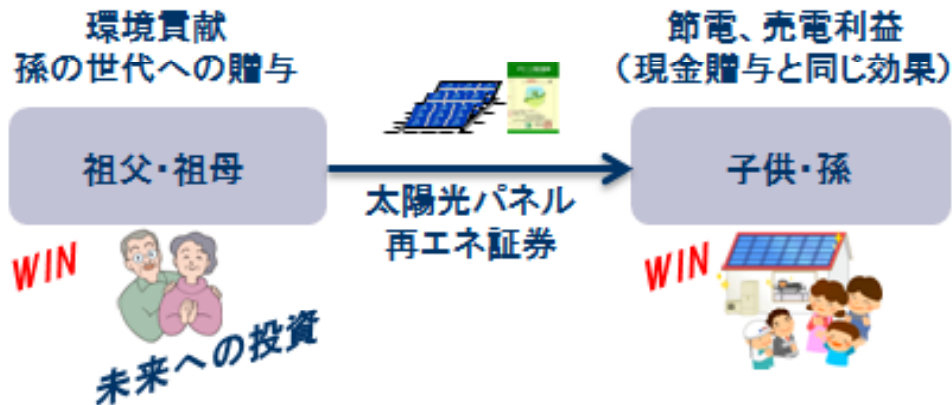


「現金？ 株？ “緑の贈与”？」

4

# 緑の贈与の仕組み

実益と環境貢献のWIN-WINストーリー。  
個人による再エネ投資の阻害要因を打破。



5

## 緑の贈与のポテンシャル(1)

意識調査の結果(H24 調べ)

緑の贈与をやってみたい: 高齢者の約2割( 400万世帯に相当)

約5割が「わからない」と回答。理由は「イメージがわからない」等が多数。

→PRにより、一定割合が実施する可能性あり。

緑の贈与 実施意向平均単価: 約430万円

400万世帯 × 430万円 = **16兆円(1~1.5兆円/年)以上**

【参考】

- ✓ 高齢者のいる世帯数は約2,000万世帯  
純資産2000万円超: 約800万世帯  
収入>支出(貯金取崩し小)の世帯: 6~700万世帯
- ✓ 贈与・相続を行いたい: 約6~7割、 お金を孫に使いたい: 約3割

# 緑の贈与 効果試算

2016～2030年累積投資額: 約16兆円

再生可能エネルギー  
(太陽・風力・中小水力・地熱・バイオマス)  
15年間の累積導入量

5,000万kW

(現在の累積導入量の2倍以上)

化石燃料輸入削減額  
(石炭・石油・天然ガス)  
15年間の累積輸入削減額

2兆9,942億円

(単純年平均 1,996億円)

雇用創出  
15年間の累積雇用創出

102.5万人・年

(単純年平均 6万8,383人・年)

CO2排出削減  
15年間の累積削減量

2億8,954万t-CO2

(単純年平均 1,930万t-CO2)

IGES (蒲谷景、小嶋公史、松尾雄介) による試算 7

## 緑の贈与のポテンシャル(2)

緑の贈与を「呼び水」に金融機関や市場から資金調達を



グリーン投資の規模は更に拡大  
年間2兆～3兆円(合計30兆円)規模も視野に

緑の贈与マネーは、長期、安定志向だが、リスクマネーとしての活用 も一定程度は可能か。

## 緑の贈与が実現すれば・・

- 安全で環境に優しいエネルギーシステムの構築は可能
- 国民がエネルギーシステムの所有者( 株主に)
- 海外流出していた電気代が、子や孫への投資に
- 国内で新たな資金還流が誕生。実体経済が活性化
- グリーン成長への一歩

**環境、経済、社会的に持続可能な社会へ！**